

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アップ↑るTREE			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 11日		～	2024年 11月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～	2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 11日		～	2024年 12月 2日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11園	(回答数)	8園
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員、心理士など様々な実務経験を持つ職員がいる。	アセスメントを心理士が行い、具体的な支援方法を保育士や児童指導員が考えるなど役割分担をしている。	各自専門性を高めながら職員間での学び合いを通して、支援方法の選択肢を増やしていく。
2	児童発達支援との多機能型であるため、療育支援と訪問支援の連携をスムーズに行うことができる。	園と療育施設双方の支援方法を尊重しながら、より良い支援について考えていくための橋渡し役を心掛けている。	園の理念等だけでなく、幼児教育と保育の違いなどを理解したうえで訪問に臨めるようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問可能な日時の制限が多い。	児童発達支援事業との多機能型のため人員の確保が難しい。	安定した人員確保ができるように体制を整えていく。
2			
3			